

うと市議会だより

編集 / 議会だより編集委員会

発行 / 宇土市議会 令和4年5月1日発行

宇土市浦田町51番地

TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313

<https://www.city.uto.lg.jp/>



ドキドキわくわくの入学式！

4月11日、市内の小学校で入学式が行われました。感染症対策がとられ、最小限の人数で式が執り行われる中、子どもたちの元気な声が体育館に響き渡りました。（写真は走潟小学校）※撮影時のみマスクを外しております。

主な内容

P 2	令和4年3月定例会
P 4～P10	一般質問
P11～P12	委員会報告
P13～P14	議案・請願等の議決結果
P14	編集後記

令和4年 3月定例会

3月定例会を2月15日から3月3日まで、17日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、宇土市総合計画策定審議会設置条例の一部改正など条例関係11件、令和4年度宇土市一般会計予算など予算関係18件、専決処分の報告及び承認2件、その他5件、議員提出議案として宇土市議会委員会条例の一部改正など2件が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。

議案の主な内容は下記のとおりです。なお、各委員会での審査内容は11～12ページに、議決結果は13～14ページに記載しています。

専決処分

◆令和3年度宇土市一般会計補正予算 (第12号)

歳入歳出それぞれ5億3,693万6千円増額し、総額を233億8,358万3千円とする。主なものは、住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業の増額補正。

◆令和3年度宇土市一般会計補正予算 (第13号)

歳入歳出それぞれ3億1,647万6千円増額し、総額を237億5万9千円とする。主なものは、低所得者世帯給付金支給事業、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業(追加接種分)、新型コロナウイルス感染症PCR検査事業の増額補正。

条例

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

宇土市消防団員の出勤報酬を新たに規定するため、条例を改正するもの。

【主な内容】

消防団員が災害に係る任務、訓練研修、予防警戒等の業務に従事した際に、出勤報酬として、1回当たり2,200円を支給する。ただし、災害に係る任務に限り、従事した時間に応じて次の額を支給する。

- ・4時間以上8時間未満の場合↓4千円
- ・8時間以上の場合↓8千円

【施行日】

令和4年4月1日(施行日以後の出勤分として支給する報酬について適用)

◆宇土市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の一部を改正する法律の施行に伴い、職員の妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のために必要な措置を講じるため、条例を改正するもの。

【主な内容】

・非常勤職員に係る育児休業及び部分休業の取得要件のうち、「引き続き在職した期間が1年以上であること」とする要件を廃止する。

・育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に関する措置について規定する。

【施行日】

令和4年4月1日

◆宇土市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の改正に伴い、条例を改正するもの。

【主な内容】

・事業者等における書面等の作成、保存等について、電磁的方法による対応も可能である旨を規定する。

・保護者等への説明等のうち、書面等で行うもの及び書面等で行うことが想定されているものについて、電磁的方法による対応も可能である旨を規定する。

【施行日】

公布の日

予算

◆令和3年度宇土市一般会計補正予算 (第14号)

歳入歳出それぞれ4億7,301万8千円減額し、総額を232億2,704万1千円とする。主なものは、社会資本整備総合交付金事業(修繕)、小規模企業者事業継続対策費(新型コロナウイルス対策分)の減額補正。

◆令和3年度宇土市一般会計補正予算 (第15号)

歳入歳出それぞれ318万2千円増額し、総額を232億3,022万3千円とする。主なものは、アサリ等緊急対策資金事業の増額補正。

その他

◆財産の取得

予定価格2,000万円以上で、1件5,000平方メートル以上の土地の取得に関する契約を締結するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるもの。

【取得する財産】

土地

【取得の方法】

随意契約

【取得価格】

3,497万490円

【取得面積】

5,247.57平方メートル

【契約の相手方】

個人7人、法人1者

令和4年度予算総額 309億999万1千円

一般会計	190億1,000万円	(194億7,000万円)
特別会計(6会計)	90億373万2千円	(88億5,210万1千円)
企業会計(2会計)	28億9,625万9千円	(27億7,077万1千円)

※企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計 ※各予算の()内は、令和3年度当初予算額

◆令和4年度宇土市一般会計当初予算(概要)

令和4年度当初予算は、4月に市長選挙を控えていたため、義務的経費が中心の「骨格予算」として編成してあります。

予算総額は190億1,000万円で、前年度当初予算と比較すると、金額で4億6千万円の減額となっています。

費目 (歳出概要)	予算額 (単位：千円)	歳出の主なもの
議会費	178,130 (176,395)	議会運営に伴う経費
総務費	4,078,679 (4,992,315)	地方バス路線維持対策事業経費、庁舎建設事業経費、自治活動支援経費、ふるさと宇土応援基金経費、情報管理費一般経費、賦課徴収一般経費
民生費	7,265,102 (7,035,725)	生活保護扶助経費、障害者福祉サービス事業経費、介護保険特別会計繰出金、子どものための教育・保育給付事業、児童手当費、後期高齢者医療広域連合負担金
衛生費	1,039,087 (939,280)	乳幼児学童定期予防接種事業、がん検診等各種健診事業、宇城広域連合負担金 [宇城クリーンセンター]、清掃収集業務経費、廃棄物減量化対策経費
農林水産業費	872,839 (994,276)	農地・水・農村環境保全向上活動支援事業、船場川湛水防除事業、宇土南部2期農免農道整備事業経費、水産物供給機能保全事業、漁村再生交付金事業
商工費	270,372 (158,910)	小規模経営支援累進給付金事業 [新型コロナ対策分]、干潟景勝地展望広場整備事業、自然公園整備事業
土木費	712,001 (1,243,600)	道路維持一般経費、河川総務一般経費、社会資本整備総合交付金事業 [公営住宅ストック総合改善事業]、下水道事業経営支援補助金
消防費	673,261 (639,848)	宇城広域連合負担金 [消防費]、消防団経費、避難所強化事業
教育費	1,449,399 (1,347,717)	学校ICT環境整備事業 [新型コロナウィルス対策分]、特別支援教育事業 [幼・小・中]、就学援助経費 [小・中]、学校施設管理経費 [小・中]、給食センター施設管理費
災害復旧費	36,729 (28,953)	震災対策事業 [財政課分]、令和2年7月豪雨災害対策経費 [史跡宇土城跡保存整備事業]
公債費	2,384,400 (1,882,980)	元金、利子
諸支出金	1 (1)	普通財産取得費
予備費	50,000 (30,000)	予備費

※各予算の()内は、令和3年度当初予算額

ピックアップ

オンラインによる方法で、委員が委員会へ参加することが可能に！

3月定例会において、宇土市議会委員会条例の一部改正及び宇土市議会会議規則の全部改正を行いました。

これは、重大な感染症のまん延防止又は災害等の発生等のやむを得ない事由により委員が委員会の開会場所に参集することが困難であると委員長が認める場合に、委員がオンラインによる方法で委員会に参加でき、かつ、出席委員として扱うことができるようにするため、条例及び会議規則を改正するものです。



令和4年 第1回 臨時会

第1回市議会臨時会を3月24日に開催しました。

臨時会では、市長提出議案として、専決処分の報告及び承認1件、議員提出議案としてロシアによるウクライナ侵攻に関し平和的解決をはじめ邦人の安全確保と我が国への影響対策を求める意見書の1件が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。



令和4年3月宇土市議会定例会 一般質問一覧表



発言順	氏名	質問事項（大項目）	掲載ページ
1	榎崎 政治	(1) 介護施設における感染症対策について (2) 歯科保健対策について	5
2	野口 修一	(1) 景観と自然維持 (2) 産業支援 (3) 木材から見たSDGs (4) 網津校区インフラ整備	6
3	芥川 幸子	(1) デジタル分野での女性の就労支援について (2) マイナンバーカード交付申請等の手続き支援について (3) 市民へのSDGsの周知・啓発の推進について (4) 産後ケア事業の拡充について	7
4	福田 慧一	(1) 新型コロナウイルスオミクロン株の感染防止対策について (2) 被災したコミュニティ施設復旧支援事業の利用状況について (3) 小中学校における新聞の配備について (4) 保育所、学童保育の利用状況と職員の処遇改善について	8
5	今中 真之助	(1) 新型コロナウイルスについて (2) 空き家対策について	9
6	宮原 雄一	(1) 農・漁業者向けの支援について (2) 機能別消防団員について	10

※上記質問事項については、一部記事として掲載されていない場合もあります。

※上記QRコードから、定例会の録画映像を視聴できます。

お子さんの口の健康のために



★熊本県の子ども(乳幼児期)のむし歯の状況は非常に悪い!

本県のむし歯有病者率は、全国47都道府県の中で、1歳6か月児はワースト1位、3歳児はワースト3位という状況です。

★むし歯菌は、家族等から唾液などを通してうつります。

生まれたばかりの赤ちゃんの口の中には、むし歯菌はいません。スプーンやフォーク、コップ等の共有でむし歯菌をうつしてしまいます。

★乳歯は永久歯に生えかわるから大丈夫と思っていませんか。

乳歯には、とても大切な役割があります。乳歯がむし歯になると、口の中でむし歯菌が増え、生えかわった永久歯もむし歯にかかりやすくなります。また、永久歯の歯並びにも影響します。乳歯が自然に抜けて永久歯に生え変わるのが理想的ですが乳歯のむし歯が大きくなり、早いうちに歯を抜いてしまうと後から生える永久歯が正しい位置に生えなくなる場合があります。

お子さんの健康な歯をつくるために必要なこと

- 1 出産前に、歯科健診を受けましょう。
- 2 大人からむし歯菌をうつさないために、お子さんに食べさせるスプーンやフォーク、箸、コップ等の食器の共有はやめましょう。
- 3 甘いおやつや飲み物をとる回数を減らしましょう。(1日2回まで)
- 4 毎日、保護者の仕上げみがきをしましょう。
(フッ化物配合歯磨剤を推奨)
- 5 歯が生えたら年に2〜4回、フッ化物塗布を受けましょう。
- 6 ご家族も定期歯科健診を受けましょう。



熊本県健康福祉部健康局 健康づくり推進課 チラシより抜粋

歯科保健対策について

歯科保健対策



問 全国的に子どもたちのむし歯数は減少しているようだが、本市の歯科保健対策の現状は。

答 乳幼児では、保護者に早い段階で口腔ケアに関心を持ってもらうため、乳歯が生え始める6か月児健診で歯科指導を行っている。その後も健診時に、歯科指導や希望者へのフッ素塗布を実施している。また、本市の乳幼児のむし歯有病者率が県平均に比べ高いのは、断乳時期が遅いこと等が要因であり、実情にあった保健指導を実施していきたい。

次に、小中学校の取組では、歯磨き習慣の家庭への啓発に加え、歯科衛生士等を派遣しての歯科保健教室やフッ化物洗口の実施等の事例が挙げられる。また、毎年、健康診断時に歯科検診を実施している。

(健康福祉部長)

(宇土、みらい)

櫻崎 政治 議員

オーラルケアと8020運動

問 口内環境が全身の健康に与える影響が解明されている。口内の健康を維持管理するオーラルケアについて本市の取組は。

答 高齢受給者証交付式の際、歯科衛生士による口腔機能の維持向上の講話と健口体操を実施していたが、現在は新型コロナウイルスの影響で中止している。代わりに保険証の郵送時に資料を同封し、啓発に努めている。また、今年度から、後期高齢者を対象とした介護予防と保健事業の一体的実施事業を実施している。その一環で高齢者向けの啓発用のチラシを作成し、老人福祉センター等での配布や健康相談時に活用している。

(健康福祉部長)

熊本市後期高齢者医療歯科口腔健康診査

問 後期高齢者医療の被保険者

を対象とした歯科口腔健康診査の実施状況は。

答 被保険者に対する歯科口腔健康診査事業の受診率は1%に満たない状況である。受診率向上のため、8月の保険証更新の一斉送付時に啓発のため歯科健診に関するチラシを同封したところ、受診券発行数が増加した。今後も周知及び啓発を進めていく。

(健康福祉部長)

特定健診に歯科口腔健康診査の追加を

問 特定健診時に歯科口腔健康診査を合わせて実施できないか。

答 集団特定健診の委託先では、歯科健診の実施はしていないが、市内の内科クリニック等に委託している個別特定健診では、歯科医師会のご協力を得ることで、後期高齢者歯科健診と同様に市内の歯科医療機関に委託して実施することは可能と考えている。

(市長)

要望

令和2年度は県のモデル事業として、特定健診の集団健診会場で希望者に歯科口腔健康診査を実施する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止となっている。是非とも新型コロナウイルス終息後再開していただきたい。



秋の景観、稲穂の実るあびき棚田



県道58号バイパス延伸の起点
(あじさいの湯付近)

景観維持と減災, 産業支援, 網津地区インフラ整備



(宇土市政研「志」)

野口 修一 議員

自然保全と減災について

問 森林保護と水害の減災との関係及びみどりのダムに関連する本市の取組は。

答 森林には、山地災害の防止、洪水の緩和などの役割がある。本市では、国県の補助金等を活用し森林の機能を発揮させる様々な施策を実施している。

また、本市や緑川森林組合などで構成する宇土市森林集約化協議会で、網津地区の森林所有者の意向調査を実施し、それを基に緑川森林組合が、網津地区を中心とした森林経営計画を策定し、間伐等の森林整備に取り組んでいる。
(経済部長)

森里川海プロジェクトについて

問 山地から海岸までの協議会をつくり、地域課題を解決する環境省の事業である森里川海プロジェクトの取組内容と活用状況は。

答 平成28年に環境省のプロジェクトチームで作成した提言書には、森里川海の課題と解決目標が示され、森林のメタボ解消健全化プログラムなど8つの取組と実行するための人づくりが掲げられている。現在は、自治体や企業等が行う取組どうしをつなぎ、全国的な取組として発信していくことを目指している。
(経済部長)

提案 森里川海プロジェクトには、網津川水系と網田川水系の地域が当てはまる。この取組で、人口減少が進む地域を支援できると考える。

(経済部長)

産業アドバイザーについて

問 ものづくり産業を本市に根付かせるには産業アドバイザーが必要と考える。そこで産業アドバイザーとは何か、また、本市の活動実績は。

答 産業アドバイザーは、事業に伴う商品開発、販路開拓、経営

改善、流通や販売等に対する助言指導など幅広い分野でアドバイザーができる人材と認識している。また、本市での産業アドバイザーの任用及び活動実績はない。
(経済部長)

要望 ネット社会になり企業の拠点は大都市である必要がなくなった。拠点に本市が選ばれるよう企業誘致と企業間の出会いの場づくりは、コロナ禍後の役割と思考ので検討を。

高規格道路と南部農免道路、県道バイパスの工事時期について

問 網津校区内では、様々なインフラ整備が実施されている。今後高規格道路の(仮称)平原橋建設と南部農免道路延伸、それと高規格道路の(仮称)割井川橋建設と県道58号バイパス延伸の工事期間はどうか重なるのか。

答 各工事の事業主体である国や県に確認したが、地元説明や用地交渉、また、今後の予算配分などの未確定要素が多く、いずれも工事時期は未定とのことであり、そのため、どちらも現時点では、はっきりしていない。
(建設部長)



塩尻市で行われているスキルアップ研修

働きたい女性にスキルアップや就労につながる支援を



(公明党)

芥川 幸子 議員

デジタル分野での女性の就労支援について

問 女性デジタル人材育成の推進について、国の地域女性活躍推進交付金を活用して、女性のスキルアップや就労につながるような支援ができないか。

答 今後、国の地域女性活躍推進交付金を活用するなどして、様々なライフステージが必要とする知識等を得られるようセミナーの開催や、デジタル分野のスキル向上への支援を検討していく。

(企画部長)

マイナンバーカード交付申請等の手続き支援について

問 マイナンバーカードの取得促進に向けての取組について。

答 本市の交付率は37.6%。市民係及び各支所の窓口で、マイナンバーカード用写真の無料撮影サービスや申請者の手続き支援を実施しており、「本人限定受取郵便」で、自宅に届ける方法も

行っており、今後も継続していく。

(市民環境部長)

市民へのSDGsの周知・啓発の推進について

問 市役所の各部署の表示板にSDGsの17ゴール（分野別目標）を明記してはどうか。

答 SDGsの目標達成に向けて市全体として取組んでいることが一般にわかりやすいよう、新庁舎においては、各部署の案内表示に当該部署の業務と関連があるSDGsのゴールを17の目標アイコンで掲示するなど、庁舎内の整備を検討していく。

(企画部長)

産後ケア事業の拡充について

問 産後間もない母親に寄り添い、家事や育児を支援する訪問型の専門職である「産後ドゥーラ」について、現在実施している産後ケア事業として拡充したらどうか。

答 他自治体の実績や国のガイドラインや通知などを注視し、研究していく。

(健康福祉部長)



元気に遊ぶ園児たち

保育所待機児童の解消、学童クラブの増設と職員の処遇改善

新型コロナウイルスの感染防止策について

問 オミクロン株の感染者が急拡大しており、市民の生活や命、事業を守るためには、3回目のワクチン接種を促進し、学校や保育所、高齢者施設などでPCR検査・抗原検査を積極的にを行い、陽性者を発見・保護し、感染抑制を図ることが必要。また、市内にPCRの無料検査所を設置すべきではないか。

答 今年2月から高齢者施設など、他、保育所等の施設利用者は、市が必要と判断した場合に市独自のPCR検査を受けられる体制を取っている。これにより接触者の感染の有無や陽性者を早期に発見し、感染拡大防止と不安の軽減を図っていく。また無料検査所の市内への設置を真に要望する。
(健康福祉部長)



(共産党)

福田 慧一 議員

保育所・学童クラブの利用状況と職員の処遇改善について

問 年度途中から保育所の待機児童が発生している。この待機児童の入所対策と、定員を超えている学童クラブの増設計画はどうなっているか。また、職員の処遇改善が必要であるが、国・市の方針はどうなっているか。

答 これまで既存保育所の増築や小規模保育事業所の新設により定員増を図った他、県の予備保育士確保促進事業により保育の受け皿を確保したが年度途中の待機児童の解消に至っていない。このため「第2期子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しにより年度途中の待機児童解消に努める。学童クラブでは定員の適正化を図るため4年度中に宇土小学童クラブ隣に施設増設を計画している。職員の処遇改善については、今年2月から収入

小中学校における新聞の複数配備について

問 選挙年齢の引き下げや民法上の成人年齢が22年4月から18歳に引き下げられることを踏まえ、社会の問題に感心を持ち身につけることなどが必要との立場から、文科省は小中学校に複数の新聞を配備するよう財政措置をとっている。教育委員会の計画はどうなっているか。

答 小中学校での新聞の活用は、文科省の計画では、発達段階に応じて複数の新聞を配備することが重要であり、複数の新聞を活用することは、情報活用能力の育成のため多くの教科において指導するべき内容であると述べられている。本市では、現時点で全校が地方紙を図書室に配備しているが、このことを踏まえ今後は、小中学校では2紙以上、中学校では3紙以上を配備するよう検討している。
(教育部長)

を3%程度、月額9千円引き上げる措置が閣議決定されたため、本市でも適正かつ円滑な実施に向けて取り組む。
(健康福祉部長)

健康な子どもへの接種に合理性を見いだせない3つの理由

1. エビデンスや大義がない。

- ・「オミクロン株については5歳～11歳の直接的なデータは存在しない」という後藤厚労大臣発言。
- ・子どもが感染しても無症状か軽症なのでワクチンを接種する必要性がない。

2. ワクチンの中長期の安全性が担保されていない。

- ・開発から1年のワクチンに発達段階の子どもへ接種する危険とリスクが大きい。
- ・12歳～19歳でワクチン接種後398名が重篤化し、5名が亡くなっている。(R4年2月18日厚生科学審議会資料より)

3. 効果が限定的でリスクが非常に大きい。

- ・アメリカでは子どもへの接種は1ヶ月後には逆に感染しやすくなる検証結果が出た。
- ・感染予防効果は2週間後には半分以下へ。2ヶ月後にはワクチン接種していないに等しい。



QRコード

※不安な方は「こどもコロナプラットフォーム」を検索!

子どもへの接種を慎重に判断するために市は情報の開示を

新型コロナウイルスについて



(宇土市政研「志」)

今中 真之助 議員

問 第6波における本市の見解は。また、陽性者のワクチン接種の有無について県の情報を開示できないのか。

答 3回目の迅速な接種を進め、引き続き市を挙げて対策に取り組んでいく。また県でも陽性者のワクチン接種の有無は把握していない。

(市長・健康福祉部長)

問 第6波においてはワクチンを3回接種してもしなくても同様に感染しているようだ。3回目接種の意義は。

答 新型コロナウイルスは変異しており、ワクチンによる免疫効果が持続しないという点からも3回の接種が必要であると捉えている。(以下、健康福祉部長)

要望 国は都合の良い資料しか積極開示しない。本市独自で調べ、市民の安心のために努力を。様々なエビデンス(数字的

根拠)から健康な未成年者には現ワクチンが必要ない。にも関わらずワクチン接種後の死亡者や重篤な副反応者は増え続けている。私には未成年者、特に5歳～11歳に接種が必要とは全く思えないが、接種理由と周知について尋ねる。

答 小児への接種は子どもの重症例の発生が抑制されるだけでなく、人口全体の感染者数や重症者数を減少させる効果がある。しかし、小児への接種はその安全性を懸念する声もあり、慎重に接種の判断をしてもらえよう、きめ細かく情報を提供していく。

要望 接種券一律配布をしないうという選択は大いに評価したい。心配している保護者は多いので、しっかりとしたエビデンスのもと正しい情報を望む。

問 コロナ感染後遺症、ワクチン接種後遺症が増えることが考えられる。そのような市民に

寄り添うための体制づくりができないか。

答 現段階では標準化された診療やケアがないので難しい。国県に対して要望していきたい。

要望 大阪府泉大津市などで独自に取り組まれている事例がある。国をあてにせず先進地に学び独自の体制づくりをとって欲しい。

問 ワクチン未接種者に対する差別や偏見が散見される。防災行政無線などを使い、もっと強力的に未接種者に配慮した広報ができないか。

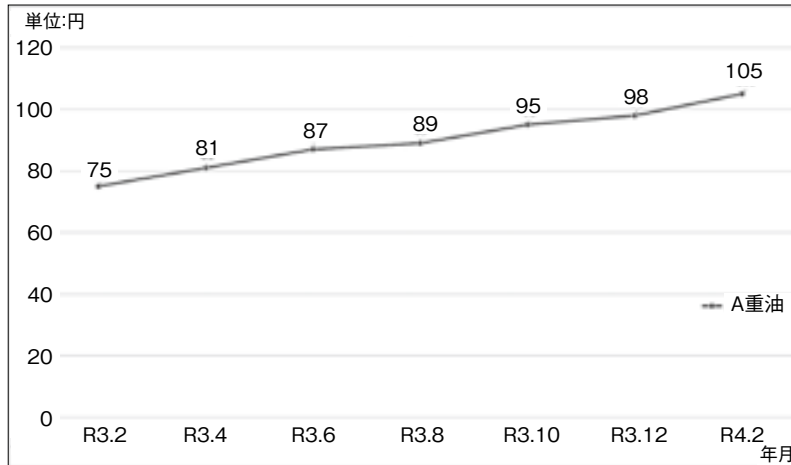
答 工夫しながら啓発していく。

問 PCR陽性や濃厚接触者となり、長期的に登校を控えずなくてはならない児童生徒が増え、授業の遅れや登校しづらい雰囲気になることが懸念される。オンラインなどを活用して、一人ひとりに配慮した体制が取れないか。

答 家庭によってネット環境が違うので平等に体制が取れないのが現状であるが、Wi-Fi環境や通信費の一部を補助するなど体制を整えていきたい。(教育長)

一般質問

営農用燃油 価格推移表 (JA熊本うきの1ℓ当たり単価)



農・漁業者向けの支援について

農・漁業者向けの支援について



(六代会)

宮原 雄一 議員

問 農林水産省が実施している燃油価格高騰対策と本市の支援は。

答 燃油価格の高騰に対して、農林水産省は、施設園芸セーフティネット構築事業の3次公募の実施により支援を行っている。この事業は、計画的に省エネに取り組み施設園芸産地を対象に、燃油価格の高騰時に補填金を支払う制度で、燃油価格が一定の基準を上回った場合に国と農業者が1対1の負担割合であらかじめ積み立てた資金から農業者に補填金を交付するものである。現在、73名の市内農業者が申請をされている。

漁業者に対しても、一般社団法人漁業経営安定化推進協会が、漁業経営セーフティネット構築事業による支援を行っている。この事業は、燃油価格の高騰に備

えて、国と漁業者が1対1の負担割合で資金を積み立て、原油価格が一定の水準を上回った場合に、積立金から漁業者に補填金を交付し、漁業経営の安定を図るものである。現在、住吉漁協で44名、網田漁協で39名の漁業者が申請をされている。

また、経済産業省は、石油元売り会社等に補助金を出し、販売価格を抑えることを目的としたガソリン補助金制度の発動を行っている。補助額は1リットル当たり最大5円で、重油にも適用されるため、販売価格の下降が期待される。

このような状況から、今のところ、市独自の助成金などを支給することは考えてないが、今後の燃油価格高騰の推移や国、県、近隣市町の動向に注視し、支援策の必要性について検討していく。

問 県では農業者の経営安定のため

め、収入保険の保険料の支援を行い、加入促進を図っている。収入保険制度に対しての本市の見解は。

答 農業共済組合が行う収入保険制度は、全ての農産物を対象に、自然災害による収量減少や価格低下をはじめ、盗難や運搬中の事故、病気で収穫不能等、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる減少を補償する制度である。保険期間の農産物の販売収入が、基準収入の9割を下回った時に、下回った額の9割を上限に補填するもので、青色申告を行っている農業者であれば加入できる。現在、野菜や果樹等の農業者43名が加入をされている。

本市としては、この収入保険制度は、農業者が安心して農業経営を行える有効な政策であると認識しており、制度の内容の周知徹底を図り、加入促進に努めたい。

要望 燃油高騰により厳しい経営状況となる農業者、漁業者に對して、是非支援を行っていただきたい。

総務市民

総務部・企画部・市民環境部
行政委員会などを所管



園田茂委員長

《議案関連》

令和3年度宇土市一般会計補正予算 (第14号)

問 ふるさと宇土応援寄附金について、実績見込みにより3,000万円減額することのだが、アサリの産地偽装問題の影響はあるか。

答 減額の理由は、寄附が最も多い12月を過ぎ、昨年度の寄附額に及ばない状況が見込まれたからであり、産地偽装問題の影響はほとんどない。なお、令和3年度において、これまでにアサリ関連の返礼品を希望された件数は17件である。

令和4年度宇土市一般会計予算

問 コンビニでの税の証明書の交付について、近年の交付件数は何件か。また、年間交付件数のうちコンビニでの交付件数の占める割合は。

答 コンビニでの昨年度の交付件数が166件。今年度は、10月末現在で179件交付しており、昨年度の件数を既に上

回っている。また、コンビニでの交付割合については、令和元年度が0.8%、令和2年度が2.33%、令和3年度が10月末現在で3.92%となっており、年々交付割合は増加している。

令和4年度宇土市後期高齢者医療特別会計予算

問 令和4年10月から後期高齢者医療保険で一定の所得がある方に2割の窓口負担が導入されるが、宇土市での対象者数の見込みは。また、現在3割負担にならている方の人数は。

答 令和3年11月時点での後期高齢者医療保険の被保険者が5,906人であり、そのうち、2割負担となられる見込みの方は、811人である。また、3割負担となっている方は、1,877人である。

《議案以外》

宇土市デマンドバス

(委員から意見) 今後利用客の増加のためには、利用したことがない方にも浸透をはかる必要がある、名称は重要である。特に高齢者の方に『デマンドバス』という名称がなじみにくいため、呼びやすく親しみやすい名称を市民に公募しては。

経済建設

経済部・建設部・農業委員会を所管



西田和徳委員長

《議案関連》

令和4年度宇土市一般会計予算

問 市内の空家を調査した結果、空家は何件あったのか。また、その中で危険と判断された空家は何件あったのか。

答 実態調査の結果、市内に空家は652件確認され、危険度に応じて4つのランク分けを行った。その中で、崩壊の危険性があるなど居住に適さないと判断された最も危険度の高いDランクの空家は32件あった。

問 Dランクに認定された場合、市から空家解体の補助はあるのか。

答 令和4年度から、老朽危険空家等除却促進事業補助金として、老朽化や危険度などの条件を満たした空家の所有者に対し、負担された解体費用の3分の2以内、90万円を上限に補助する制度を計画している。

問 住吉地区土砂処分場の整備について、長部田港の東側の土砂処分場の整備予定地については、将来的に埋め立てを行うのか。

答 漁港から浚渫された土砂が満杯になれば、その後埋め立て整備を行う予定である。埋立地の活用については、漁業に関する資材置き場や海苔の共同乾燥施設としての利用など、地元漁協と協議をしながら今後、検討していきたいと考えている。

問 地元漁業者への説明は行っているのか。
答 地元の漁協へ説明し、了解を得ている。今後は、地区住民や地元振興会に対して説明を

行う予定である。
(委員から意見) 埋立地の利用については、早期に計画を立て、スムーズに利用が開始できるように協議を進めてほしい。

《議案以外》

アサリの出荷停止措置の影響について

問 アサリの出荷停止措置を受けて、収入が無くなった漁業者に対する収入補償はないのか。

答 漁協に対する支援事業等はあるが、漁業者へ直接、収入を補償する制度はない。

(委員から意見) アサリ問題の影響でハマグリにも風評被害が出ており、販売業者からの返品もあつている。今後、ハマグリまで販売できなくなれば漁業者が無収入となる可能性もあり、深刻な状況である。

(委員から意見) こういった状況を見直すきっかけ作りが必要である。まずは、地元でとれたハマグリを市民に購入してもらえようとする大々的なキャンペーンの実施を検討してはどうか。

地籍調査誤り修正の進捗及び今後の予定について執行部から報告

今年度に再調査を実施している『平成21年度調査区域の2字』及び『平成25年度調査区域の11字』については、1月末までに現地立会いと測量を終了しており、現在は、測量工程の検査を実施している。

検査後は、来年度の閲覧準備を進めることとしており、来年度の閲覧登記をもって、網田地区地籍調査の誤り修正作業は全て完了する予定である。

なお、今年度、閲覧を実施した『令和2年度再調査分』の地籍調査成果については、今年1月に国県の認証承認を得ており、最終的な登記を行うため、法務局へ送付したところである。

文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管



野口修一委員長

《議案関連》

令和4年度宇土市一般会計予算

問 障害者福祉サービス及び障害児施設給付サービスについて、年々サービス費が膨らんできている。この要因をどのように分析しているか。また、今後の対策はどうか考えられているのか。

答 障がい者と障がい児のサービス費の増加に共通していることは、事業所が増え、それに伴い利用する方が増えているためである。また、障がい児のサービスについては、発達障害への理解が進み、診断を受け、相談をされる方が増えていることも要因の一つと考えられる。国では、事業所が増え、内容が伴っていないものがあるとして、単に習い事のようなものは認められないとするなど正する動きがある。本市を含む宇城圏域の二市一町では、事業所との話し合いを重ね、適切な給付に関して統一したガイドラインを今年度策定した。これに基づき、来年度から取り組んでいく。

(委員から意見) 本当に求める子どもたちに必要な療育が行われることが大事である。サービス内容に対して厳しい評価が必要であらう。
問 ジュニアスポーツ応援補助金の対象人数と補助額が拡大されることについて、ど

のような財源を考えているのか。
答 今までのスポーツ振興基金に加え、新たに地域環境整備基金を考えている。また、企業版のふるさと納税を活用できるように努力していきたい。

問 学校ICT環境整備事業における電子黒板購入について。
答 令和4年度と5年度の2か年で全ての小中学校に導入を計画している。来年度は中学校分として約80台を予定している。

問 国が求めている学校のICT化に対して、どの程度、整備が進んでいるのか。
答 国が基本と考えている1人1台端末は達成している。これに付随する教員の1人1台端末整備や学校内のネットワーク環境整備も完了している。最終的な整備として電子黒板の導入を考えている。

問 オンラインでの持ち帰り学習はできているのか。
答 全ての家庭でオンライン学習ができる状態ではないが、学校でダウンロードしたものをオフラインで家庭学習を行うなど、まずはできることから始めていく。

令和4年度宇土市介護保険特別会計予算
問 一般会計からの繰入金金が約6億3,700万円であり、年々増加しているが、ピークはいつになるのか。また、どのくらい増えるのか。
答 団塊ジュニア世代が65歳になる2040年が一つのピークになる。また、給付費が10億円増えたと仮定すると、一般会計からの繰入金は1億2,500万円ほど増えることになる。

地域高規格道路促進等対策特別委員会



宮原雄一委員長

《執行部からの説明》

熊本宇土道路、宇土道路における用地進捗率、事業進捗率については、前回の報告から変更はあつていない。

宇土道路

令和3年度予算は、当初予算額21億8,800万円に対し9億6,000万円を増額する補正が行われている。

工事では、新たに「熊本57号平原地区2号工事用道路外工事」、「熊本57号塚地区改良13期、14期工事」、「熊本57号上網田地区改良7期、8期、9期工事」の6件で入札に伴う公告が行われている。そのほか、「熊本57号網津地区5号工事用道路3期工事」、「熊本57号塚地区改良12期工事」の2件で契約締結がなされている。

用地補償関係では、「令和3年度国道57号宇土道路用地関係資料作成業務」で契約期間の延長が行われており、「令和3年度国道57号宇土道路長浜地区外補償説明業務」で契約締結がなされている。

宇土三角道路

令和3年度予算は、当初予算額1億円に対し5,000万円を増額する補正が行われている。

調査設計では、新たに「令和3年度熊本天草幹線道路（その3、その4、その

5）測量業務」の3件で契約締結がなされている。その他、「令和3年度熊本天草幹線道路地質調査（その1、その2）業務」の2件で入札に伴う公告が行われている。

《主な質疑》

問 給食センター前の鶴塚踏切について、笹原トンネル工事に伴い、毎日多くのダンブトラックが通行しているが、踏切の幅が狭く非常に危険である。踏切をもう少し幅できないのか。
答 国土交通省から、踏切を拡幅するには、JRRや警察等との様々な協議を終えてから工事を行うため、少なくとも3年の期間が必要であると聞いている。来年には、笹原トンネルの工事が完了する予定であり、その先の糖塚山トンネル工事が出る土砂は、笹原トンネルを通って運搬される計画であるため、鶴塚踏切は通らなくなると聞いている。そのため、期間的な問題からも難しいという回答であった。

問 給食センター前は事故多発地帯であり、踏切も狭くダンブトラックが通るような道ではないと思う。
答 多くのダンブトラックが入り出すことで、渋滞等の様々な問題も出てくると考えられる。状況を見ながら、その都度、対策を講じて対応していきたい。

(委員から意見) 多くの市民から踏切の拡幅について要望があつていることを是非、国土交通省に伝えてほしい。
問 トンネル工事が出る土砂を網田コミュニティセンター建設の盛土として利用できないか。
答 今後、コミュニティセンターに必要な土砂の量など詳細を確認し、国土交通省と協議していきたい。

令和4年3月宇土市議会定例会議決結果一覧

賛否のわかれた議案等

提出者	件名	議決結果	表決数 賛成-反対	宇土、みらい			うと しせい会		六政会			宇土市政研 「志」															
				嶋本 圭人	樫崎 政治	村田 宣雄	柴田 正樹	平江 光輝	小崎 憲一	宮原 雄一	山村 保夫	今中真之助	西田 和徳	野口 修一	中口 俊宏	佐美三 洋	園田 茂	藤井 慶峰	芥川 幸子	杉本 信一	福田 慧一						
市長	第2号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第2号 令和3年度宇土市一般会計補正予算(第13号)について	15-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○					
市長	第22号	令和4年度宇土市一般会計予算について	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●				
市長	第23号	令和4年度宇土市国民健康保険特別会計予算について	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●			
市長	第25号	令和4年度宇土市介護保険特別会計予算について	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●		
市長	第27号	令和4年度宇土市後期高齢者医療特別会計予算について	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
市長	第34号	宇土市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

※○=賛成又は採択,●=反対又は不採択,欠=欠席,退=退席,除=除斥※議長職の中口俊宏議員は,可否同数の場合のみ裁決するため,「-」と表示しています。

全員賛成の議案等

提出者	番号	件名	議決結果
市長	第1号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第1号 令和3年度宇土市一般会計補正予算(第12号)について	承認
市長	第3号	宇土市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
市長	第4号	宇土市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第5号	宇土市庁舎建設等基金条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第6号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第7号	宇土市総合計画策定審議会設置条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第8号	宇土市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第9号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	〃
市長	第10号	財産の取得について	〃
市長	第11号	宇土市道路線の認定について	〃
市長	第12号	宇土市道路線の変更について	〃
市長	第13号	辺地総合整備計画の変更について	〃
市長	第14号	令和3年度宇土市一般会計補正予算(第14号)について	〃
市長	第15号	令和3年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	〃
市長	第16号	令和3年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	〃
市長	第17号	令和3年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計補正予算(第2号)について	〃
市長	第18号	令和3年度宇土市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	〃
市長	第19号	令和3年度宇土市入学準備祝金給付基金特別会計補正予算(第1号)について	〃
市長	第20号	令和3年度宇土市水道事業会計補正予算(第4号)について	〃
市長	第21号	令和3年度宇土市公共下水道事業会計補正予算(第2号)について	〃
市長	第24号	令和4年度宇土市北段原土地区画整理事業特別会計予算について	〃
市長	第26号	令和4年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計予算について	〃
市長	第28号	令和4年度宇土市入学準備祝金給付基金特別会計予算について	〃
市長	第29号	令和4年度宇土市水道事業会計予算について	〃
市長	第30号	令和4年度宇土市公共下水道事業会計予算について	〃
市長	第31号	宇土市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第32号	宇土市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第33号	宇土市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第35号	宇土市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	〃

提出者	番号	件名	議決結果
市長	第36号	令和3年度宇土市一般会計補正予算(第15号)について	可決
議員	発議第1号	宇土市議会委員会条例の一部を改正する条例について	〃
議員	発議第2号	宇土市議会会議規則について	〃

報告

報告番号	件名
第1号	令和2年度宇土市財政の健全化判断比率(確定値)について

請願・陳情

受理番号	件名	議決結果
令和4年 請願第1号	新型コロナウイルス感染者が安心して自宅療養出来ることを求める請願書	採択

令和4年第1回宇土市議会臨時会議決結果一覧

賛否のわかれた議案等

提出者	件名	議決結果	表決数 賛成-反対	宇土、みらい		うとせい会		六政会			宇土市政研「志」										
				嶋本 圭人	檜崎 政治	村田 宣雄	柴田 正樹	平江 光輝	小崎 憲一	宮原 雄一	山村 保夫	今中真之助	西田 和徳	野口 修一	中口 俊宏	佐美三 洋	園田 茂	藤井 慶峰	芥川 幸子	杉本 信一	福田 慧一
市長	第37号 専決処分等の報告及び承認を求めることについて 専決第3号 令和3年度宇土市一般会計補正予算(第16号)について	承認	15-0	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議員	発議第3号 ロシアによるウクライナ侵攻に関し平和的解決をはじめ邦人の安全確保と我が国への影響対策を求める意見書	可決	14-0	○	○	○	欠	欠	○	○	○	退	○	○	-	○	○	○	○	○	○

※○=賛成又は採択,●=反対又は不採択,欠=欠席,退=退席,除=除斥※議長職の中口俊宏議員は,可否同数の場合のみ裁決するため,「-」と表示しています。

市議会の傍聴のご案内

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため,3月定例会では一般傍聴の自粛をお願いしました。今後の市議会の傍聴につきましては,市議会ホームページを御覧になるか,議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

ロシア軍によるウクライナ侵攻が世界に衝撃を与えています。市議会では,令和4年3月24日に開催されました第1回臨時会において「ロシアによるウクライナ侵攻に関し平和的解決をはじめ邦人の安全確保と我が国への影響対策を求める意見書」を可決し,意見書を国へ提出しました。今後,状況がどのように推移していくか予断を許さない状況ですが,一日も早く戦争が終結し,争いのない平和な日々を取り戻すことができることを願っております。

編集委員

委員長/檜崎政治 副委員長/野口修一
委員/園田茂 委員/西田和徳

市議会からのお知らせ

市議会のホームページで,本会議(定例会・臨時会)の会議録を公開しています。

[アドレス] <https://www.city.uto.lg.jp/>

本会議の会議録(冊子)は,市情報公開コーナー(仮設庁舎1階ロビー),市立図書館で閲覧できます。

なお,令和4年3月定例会の会議録は,令和4年6月定例会以降に閲覧可能です。

[お問い合わせ] 市議会事務局 0964-22-1111 内線234



令和4年6月 定例会会期日程

6月定例会の日程は,市議会ホームページを御覧になるか,議会事務局までお問い合わせください。(5月上旬に決定予定) 広報うと6月号にも掲載予定です。

